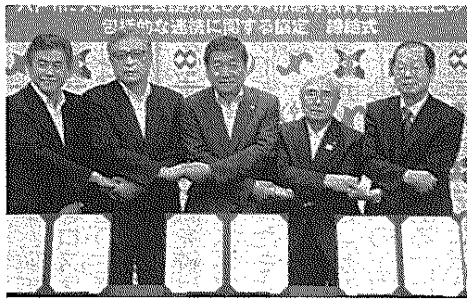


八戸地域発展へ 産学官連携協定

年度内に中長期計画

八戸市、八戸商工会議所と市内の大学などで組織する「八戸市高等教育連携機関」は24日、産学官包括連



協定を締結し握手を交わす
小林眞八戸市長(中央)ら
関係者 24日、市庁

携協定を締結した。本年度内に連携事業に関する中長期の計画を策定し、八戸地域の課題解決に当たるとともに、地域の発展に向けた取り組みを進める。

市高等教育連携機関は、八戸学院大、八戸学院短期大学部、八戸工業大、八戸高専で構成。協定は、出生数の減少や若者の県外流出が、学生や労働力の減少、市場規模の縮小などを引き起こし、地域の持続可能性に懸念が生じているのを踏まえた。

産学官の各団体が分野横断的に連携する体制を構築し、各種取り組みを進める必要があると判断。▽人材育成▽地域経済・産業▽防災・減災▽文化・スポーツなど7分野で特色ある事業を進め、地域の活性化を図る。

この日は、市庁で協定締結式が開かれ、小林眞市長ら関係者が協定書に署名。握手を交わし、今後の発展を誓い合った。

このほか、協定締結に伴

い設置した八戸産学官連携推進会議の初会合を開催。計画の策定に向け、今後、具体の事業の検討を始めることを申し合わせた。

終了後の会見で、小林市長は「締結を機に、相互の連携が一層強化されること

は、市の総合政策推進の追い風になる」と強調。八戸商議所の福島哲男会頭は「一体となって互いができることを確認し、地域振興を図っていくことに期待したい」と語った。

市高等教育連携機関を代表し、八戸学院大の法官新一学長は「4校の連携は、それぞれが有する特色から見て、総合大学」としての役割も成す。産学官の連携で八戸地域の発展につなげたい」と述べた。

(上野貴裕)